

ホニャク出版社のソリューション

# Illustrator 多言語版の時短テクニック



「伝える」をデザインする

 株式会社 **ホニャク出版社**  
1

©2023 Honiyaku Shuppan-sha Ltd.

# Illustrator 多言語版の時短テクニック

Illustrator で作られているデータ（AI・EPS）の翻訳にムダな手間をかけていませんか？

安定した品質・低コスト・短時間で翻訳を行うためには翻訳支援ツール（Trados、Phrase など）を利用することが重要です。

InDesign や Word のデータなら翻訳支援ツールで直接中身を翻訳できるので、翻訳後の再レイアウト作業が不要です。しかし Illustrator データはその方法が採れず、翻訳したテキストを一つひとつコピーして作るようになります。この悩みを弊社の技術で解消することができました。

## 課題

翻訳支援ツールは多種多様なファイル形式に対応しています。Word などの Office ドキュメントや HTML・XML などのマークアップ言語がその一例です。また InDesign など Adobe 系のファイル形式にも対応しています。InDesign で作ったカタログなどを翻訳した後のレイアウト作業を最少化して、効率的に翻訳されている企業様も多いと思います。

ところが同じ Adobe 系でカタログやパンフレット作成によく使用される Illustrator のデータについては、残念ながら翻訳支援ツールが対応しておらず直接扱うことができません。

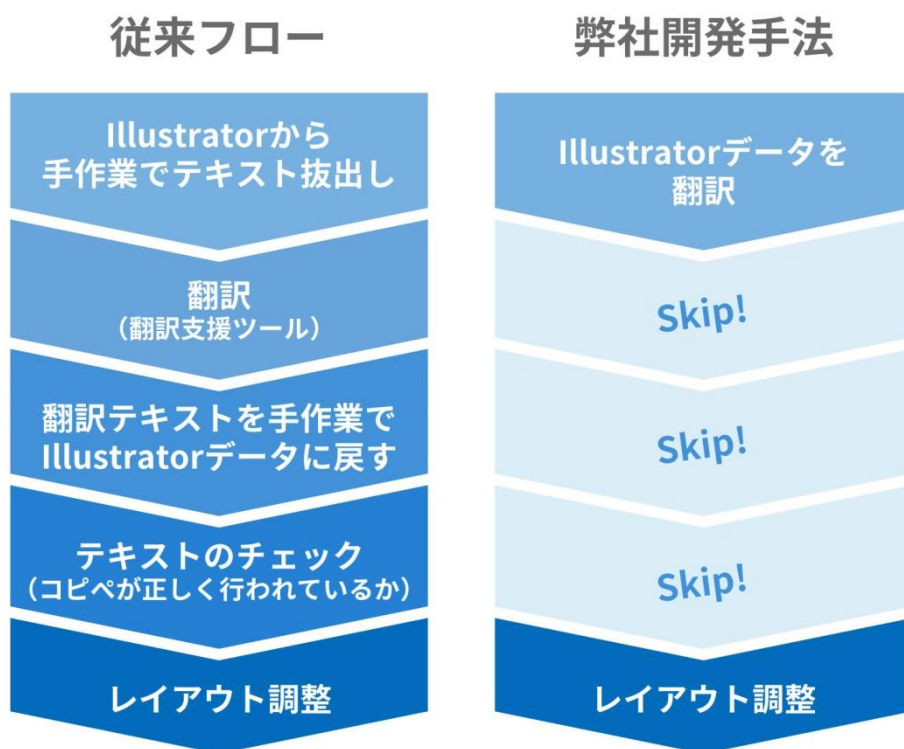
## 解決策

通常であれば Illustrator データの翻訳は次のような工程で行います。



これでは時間がかかるだけでなく、コピペミス危険も発生します。コピペミスを流出させないためのチェック工程にも多くの時間を割くことになります。

そこで弊社で研究開発を進めた結果、通常不可能と考えられていた Illustrator データの翻訳支援ツールによる多言語化に成功しました。翻訳後に手作業でコピペする作業なしで、半自動で多言語版の Illustrator データができあがります。



この手法でのサービスはすでに十年以上の実績があり、カタログ・パンフレット・取扱説明書などの Illustrator データを多言語化してきました。お急ぎのお客様に対応しやすくなり、「思ったより安くできた」というお声もいただいています。

## まとめ

Illustrator データの翻訳を安定品質+低コスト+短時間で行うには弊社のソリューションがぴったりです。Illustrator データでドキュメントを作成・管理されているお客様はぜひ一度ご相談ください。

(2019年7月1日公開/2023年8月8日更新)

## ホニャク出版社のソリューション一覧

- Web を簡単に多言語化する方法
- Word だって自動組版できるんです
- 改訂履歴の見られる電子マニュアルはいかがですか？
- Illustrator 多言語版の時短テクニック
- 動かない AI を生み出さないため、不揃いなデータをデータ整形（データクレンジング）で統一しませんか？
- 翻訳前に「改行」や「空白」などの制御文字を事前に取り除く方法とは？
- 用語集を自動作成！同時に表記揺れも検出！
- 翻訳資産管理
- マニュアル診断から、その先へ
- 英訳する日本語原稿は何に気をつけて書く？
- 翻訳費用削減事例
- Microsoft Access を使ったデータ管理

上記に類似したお悩みごとはございませんか？

弊社がお力になれるかもしれません。

各種ソリューションは弊社の Web サイトからご覧いただけます。

是非ご確認くださいませ！

QR コード読み取りまたは  
「ホニャク出版社」で検索



ページ上方のメニューから  
「ソリューション」にアクセス

「ソリューション」ページ URL : <https://www.honyaku-shuppan-sha.co.jp/solution.html>

お問い合わせ

**03-3355-4411** (9:00~17:30)

Web サイトからもお問い合わせいただけます。

トップページの「お問い合わせ」ボタンからフォームに入力してご送信ください。

### 商標/コピーライト

Microsoft Word、Excel、PowerPoint は米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

Adobe、Adobe FrameMaker、Adobe InDesign、Adobe Acrobat、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

Trados は SDL plc の登録商標です。

その他、本書に表示・記載されている各社の会社名・サービス名・製品名等の商標は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

表紙写真提供：Wynand van Poortvliet (<https://unsplash.com/@wwwynand>)